

⑱ トーチカ (TOCHKA)



戦争遺跡で、分厚いコンクリートで固めた日本軍の小さな攻撃拠点です。中に2〜3人の日本軍兵士が入り、米軍へ攻撃をしていました。

⑲ 陣地壕



嘉数に駐屯した日本軍は、嘉数高地を中心とした周辺地域にいくつもの陣地を築きました。その作業には兵士だけでなく、嘉数や周辺地域からも、老人や女性を含む多くの人々がかりだされました。

⑳ 嘉数高台公園



市内の景勝地としても知られ、展望台や各種の運動施設、野外ステージなどが備えられています。沖縄戦で日米両軍の激しい攻防が展開された激戦地で、高台からは普天間飛行場が眺望できます。修学旅行の見学ポイントとしても有名です。

歩道は桜の名所となっています。



㉑ 病院壕

自然に形成された鍾乳洞で、沖縄戦において嘉数病院壕として使用されました。嘉数前原遺跡とも称され、標高83mの独立丘陵の東麓に形成する遺跡でもあります。



㉒ チヂフチャー洞穴



沖縄戦で避難壕として利用され、嘉数集落の半数以上の人々が避難していたといわれています。全長が110mある鍾乳洞で1500年〜800年前の土器や貝殻が出土しており、古代の人々の住処として利用されていたようです。

嘉数のおもろさうし

「おもろさうし」は1531年から首里王府が奄美・沖縄に伝わるおもろを少なくとも3回にわたって採録した全22巻の沖縄最古の歌謡集です。「おもろさうし」には嘉数ゆかりのおもろが4首も取り上げられています。

さばちこがおもろのふし 一五ノ四三

かいずもりぐすく
ねたてもりぐすく
なよくらてづて
あまやかせ
又 けおのよかるひに
けおのきやかるひに
又 あらがみはてづて
おりなぐはてづて

(村の最初から崇めた嘉数の杜城に、嘉数の神女ナヨクラが祈って神を喜ばせよ。今日の佳き日に神女ナヨクラが祈って神を喜ばせよ。神女はオリナクの神に祈って、神女ナヨクラが祈って神を喜ばせよ。)

引用：標音 おもろさうし注釈(三)/和泉書院

戦前の嘉数集落のイメージ



平成27年2月12日発行

編集・発行：宜野湾市教育委員会
〒901-2203 沖縄県宜野湾市野嵩1-1-2
TEL 098-893-4430

編集協力：株式会社インタープラン沖縄
〒901-2226 宜野湾市嘉数3-26-14

印刷：株式会社沖産業
〒901-2221 宜野湾市伊佐2-1-1

嘉数 歴史文化遺産マップ

嘉数について

嘉数は宜野湾市の南西部に位置し、比屋良川と牧港川にはさまれた石灰岩台地の地域です。方言ではカカジと呼ばれています。

宜野湾市のキャッチフレーズ“ねたてのまち 宜野湾”の“ねたて”とは根源とか中心を意味する琉球の古語で、これは、1531年から王府により編集された「おもろさうし」にある嘉数杜グスクを謡ったものからとられました。

嘉数は沖縄戦において名高い激戦地で、今なお激戦を物語る戦跡が数多く残っています。

嘉数高台一帯は焼け野原となりましたが、現在は森林も回復し、嘉数高台展望台に至る歩道にはヒカンザクラが植えられ、市内でも指折りの桜の名所となっています。

宜野湾市全域図



嘉数の位置